**第５０回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年２月２４日（水）１７時３０分～ |
| 開催場所 | 市民会館　小会議室 |
| 出席者 | （部会長）　　神谷博達（副部会長）　安宅錦也（部会員）　　仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子、大坂倫一（庁内委員）　近藤正嗣、重山大介（事務局）　　大越智輝、佐々木健 |
| 欠席者 | 磯田大治 |
| 議題 | 本を読むことを広めるための取組みについて |
| 配布資料 | 第５０回育み部会参考資料（部会長作成） |

１．会議の要点

○前回のおさらい

・市内で活動している読書活動家の方々を招いて意見交換会を実施

　読書活動家　松山　哲男　氏　ＥＨＯボラ実行委員会

　　　　　　　高木　三千子氏　おはなしぽけっと　幌別中学校図書ボランティア

　　　　　　　須藤　和恵　氏　おはなしぽけっと

　　　　　　　武者　正樹　氏　まちライブラリー

・アーニスにおける育み部会の読み聞かせ等に賛同と協力の約束をいただいた。

○今回の協議内容

（部会長が提案した４つの案について協議）

案①　絵本の読み聞かせ　紙芝居

案②　絵本の読書コーナー

案③　家庭に眠っている絵本の寄贈受付

案④　高木氏による絵本読み聞かせ講座

・松山氏が、１回の読み聞かせでも選書や練習など色々な準備が必要であると言われていたことを考慮すると、育み部会でもそれほど多くのことはできないかもしれない。

・案④「高木氏による絵本読み聞かせ講座」のお手伝いが一番実施しやすいのではないか。子どもではなく、大人を対象に。

・コロナ禍で人を集めることが難しい時期であるが、案③「家庭に眠っている絵本の寄贈受付」はできるかもしれない。

・前回の部会で、須藤氏が言われていたように、良書はなかなか手放さないので集まりづらい。配るのではなく、育み部会でストックとしておいて、希望者に貸し出すのはよいと思う。

・良書は集まりにくいが、本を置いている事業所等から集めることもできると思う。寄贈を受ける場所はまちライブラリーをやっているところにも協力していただくこともできるのではないか。

・案③「家庭に眠っている絵本の寄贈受付」を実施する場合、集めた本の管理は誰が行うのか？

・実際には破損箇所の修繕や消毒などの作業も必要となる。返却された本をそのまま次の人へ貸し出すのは、今の（コロナ禍の）状況では難しい。

・読書活動家の方々の活動は、人が集まりづらいという課題があるようなので、その要因がアナウンス不足なのか、環境に起因しているのかを把握し、その対応策を読書活動家の方々と相談しながら育み部会が協力していくことも大切である。今はできなくてもコロナ禍が落ち着いた時期にできるように。

・育み部会で新しい取組みをして、読書活動家の方々の負担となってはならない。

・読書活動家の方々のほうが現場を把握しているので、育み部会はその活動をサポートするというスタンスのほうがよいのではないか。

・読書活動家の方々が、本当にやってみたい、やりたいと考えていることを育み部会でサポートするのがベストであると思う。

２．次回について

　　日時：令和３年３月２２日の週で開催を調整

　　内容：本に読むことを広めるための取組みについて

　　　　　読書活動家の方々にも再び参加していただき、育み部会が協力できることを協議する

　　　　　令和３年度の育み部会の取組みについても協議する